

スポーツによるまちづくり・地域活性化活動支援事業

(前年度予算額 : 30,416千円)
令和2年度予算案 : 65,456千円

地方公共団体、スポーツ団体、民間企業（観光産業、スポーツ産業）等が一体となり、地域活性化に取り組む組織である「地域スポーツコミッション」等が行う、「**長期継続的な人的交流を図るスポーツ合宿・キャンプ誘致**」・「**通期・通年型のスポーツアクティビティ創出**」等の活動に対し引き続き支援を行い、**スポーツによる持続的なまちづくり・地域活性化**の促進を図る。

令和2年度は、東京2020オリパラ大会等を契機に各地に設立されている官民連携横断的組織の取組を、一過性のものとせず今後のレガシーとして残していくため、常設で通年型の取組を行う地域スポーツコミッションへ発展させるための支援を新たに行う。

「東京2020オリパラ大会」

ホストタウン登録された地方公共団体や「東京2020参画プログラム」に登録された取組等を行う組織を地域スポーツコミッションに発展させるための体制整備を支援。

ホストタウン等

関係者の合意形成、潜在コンテンツ掘り起こし・ニーズ把握調査等の取組を支援。

支援



スポーツ庁

支援

支援

実行委員会等

関係者の合意形成、潜在コンテンツ掘り起こし・ニーズ把握調査等の取組を支援。

「WMG2021関西大会」

事前合宿や「TSUNAGUプログラム」に登録された取組等を行う組織を地域スポーツコミッションに発展させるための体制整備を支援。

長期継続的な人的交流を図る「スポーツ合宿・キャンプの誘致」

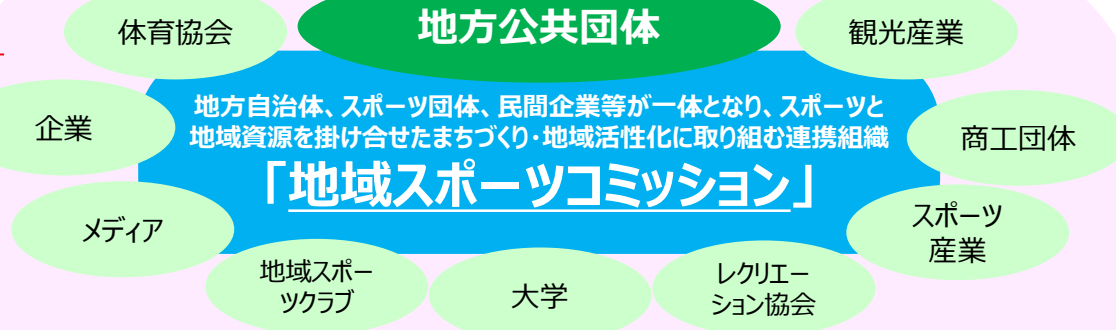
地域の気候・環境・施設や、メガスポーツイベント等に向け構築された連携体制等を活用した取組を支援。



写真提供：佐賀県



写真提供：網走市



第2期スポーツ基本計画で掲げる、地域スポーツコミッションの設置数目標
56団体 (2017年1月) → 118団体 (2019年10月) → 170団体 (2021年度末目標)

恒常的なスポーツ誘客が可能な「通期・通年型スポーツアクティビティの創出」

自然環境を活かしたアウトドアスポーツや日本発祥の伝統文化である武道を活用した取組を支援。



写真提供：宮崎県



写真提供：みなかみ町

【地域への社会的効果】

- スポーツのまちとしてのアウトターブランディング、
- ローカルアイデンティティ・地域一体感の醸成
- 地域スポーツ人口・関心層の拡大
- 季節・年間を通じての誘客による、従事者の雇用安定

スポーツによる持続的なまちづくり・地域活性化へ

創出された優良事例を、全国へ横展開

【地域への経済効果】

- 合宿参加者・スポーツツーリストの滞在に係る消費（宿泊・飲食・観光・物販など）
- スポーツアクティビティの参加料収入